

難

六年

画数 18
筆順

ナ 難
かたしい・むずかしい

成り立ち

「黄金色」の意味を表した「難」(漢370)と、鳥の形を表した「雉」とを組み合わせて作った字です。

「羽が黄金色に輝いている鳥」という意味の字です。

手に入れることが大変に「むずかしい」ので、「むずかしい」という意味に使われるようになりました。

例 難問、難題、難解、困難、苦難。

「困難」や「苦難」の意味にも使われます。

例 多難、難儀、遭難、難波。

また、「責める」意味にも使われます。

例 非難、難詰。

使い方

▽ぼくはテレビのクイズ番組に出たことがありますか、あんまり難問ばかりで、ほとんど答えられませんでした。

▽人生には数々の困難があります。それらの苦難をのり越える強さを持たなければなりません。でも、心配することはありません。生きて行くうちに、そうした強さを誰もが身につけるようになるのです。

熟語例

- ▽難問 (難しい問題)
- ▽難題 (「難しい問題」という意味ですが、おもに「無理難題を吹きかけられて困った」などと「無理な言いがかり」の意味につかいます。)
- ▽難解 (わかりにくいこと。)
- ▽困難 (難しく困ること。)
- ▽苦難 (苦しみや難儀)
- ▽多難 (困難が多いこと。)
- ▽難儀 (難しく辛いこと。)
- ▽遭難 (海や山で命を失うような災難にであうこと。)
- ▽難波 (物事がはかどらず苦しむこと。)

乳

六年

画数 8
筆順

ル 乳
ちち・ち

成り立ち

手の形を表した「子」と、赤ちゃんの形を表した「乳」と、人がすわっている形を表した「し」(礼344)とを組み合わせて作った字です。

「母親がすわって赤ちゃんに「ちち」を飲ませる」意味を表した字です。

「ちち」という意味に使われます。

例 乳首、乳房、乳飲み子(乳児)、母乳、哺乳、授乳、離乳、牛乳、粉乳。

また、「ちち」に似た液体のことを言うのにも使います。

例 乳液、乳状、乳化、豆乳。

使い方

▽ぼくの小さな妹は、ついこのあいだまで母乳を飲んでいました。今は離乳食を食べています。でもまだ、時々おかあさんのお乳を恋しがります。

▽わたしは牛乳がきらいです。でも牛乳は栄養があるから飲まなければいけないと言われます。それで、がまんして飲むようにしています。

熟語例

- ▽乳首 (乳房の先のとびでた所)
- ▽乳房 (お乳を出すためにある器官。哺乳類の胸や腹にあるもの)
- ▽母乳 (母親のお乳)
- ▽哺乳 (お乳を子に飲ませること。「哺乳類」といえばお乳で子を育てる動物のことです。)
- ▽授乳 (お乳を赤ちゃんに与えること。)
- ▽離乳 (乳離れ。お乳を与えるのをやめて、普通の食事にすること。)
- ▽乳液 (乳に似て、白くどろりとした液体の化粧品)
- ▽乳状 (乳のように、白くどろりとした状態)
- ▽乳化 (乳のような液体になること。)